

委員会活動報告書

委員長名 岸恵美子

【委員会名】 保健師基礎教育検討委員会（特別プロジェクト）	
【メンバー】 ◎岸恵美子（東邦大学）、五十嵐千代（東京工科大学）、和泉京子（武庫川女子大学大学院）、大木幸子（杏林大学）、大森純子（東北大学）、斉藤恵美子（首都大学東京）、 *佐伯和子（前北海道大学大学院）、¥鈴木良美（東京医科大学）、中板育美（武蔵野大学）、野村美千江（愛媛県立医療技術大学）、鳩野洋子（九州大学） 50 音順、◎委員長、*役員以外の委員、¥会計担当、（ ）所属名	
【活動方針】 質の高い保健師育成のために、保健師基礎教育における教育内容・方法や教育体制のあるべき姿を検討し提案する。	
2018 年度	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業時の到達度、教育内容・方法、教育体制の現状を分析し、保健師基礎教育の課題、教育内容・方法の見直しの方向性を検討する。 ・将来を担う保健師に求められる能力および強化が必要な能力を明らかにし、現在の保健師基礎教育で不足している教育内容・方法を抽出する。 ・保健師基礎教育に今後必要な教育内容・方法を検討する。
活動報告	<p>保健師基礎教育調査結果、これまで実施した会員校への調査結果、各委員会の成果報告書等から、卒業時の到達度、教育内容・方法、教育体制の現状の分析を行い、保健師基礎教育の課題、教育内容・方法の見直しの方向性を検討した。そのうえで、「将来を担う保健師に求められる能力」および「強化が必要な能力」を明らかにし、現在の保健師基礎教育で不足している教育内容・方法を抽出し、看護基礎教育検討委員会および保健師ワーキングでの検討の根拠となるよう情報提供および意見提出した。</p> <p>1. 保健師基礎教育調査結果、およびこれまでの全保教の成果物から課題の抽出 保健師基礎教育調査結果、公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラム、各委員会の成果報告書等を参考に、将来を担う保健師に必要な能力、今後強化すべき能力を検討した。また、保健師基礎教育における、教育内容の見直しの必要性、方向性を検討し、保健師基礎教育に必要な単位数、講義内容・方法、演習内容・方法、実習内容・方法を検討した。</p> <p>2. 将来を担う保健師に求められる能力の検討 今後強化すべき能力として、保健師は、「対人支援」の技術を基本とし、「地域共生、共助」の政策を推進し、地域づくりができることや、それを管理的な立場で政策提言できる能力が必要であり、対人のコミュニケーション能力だけでなく、組織とのコミュニケーション能力や組織間のコミュニケーション能力、施策化や活動の成果を効果的に見せるための研究能力の必要性を検討した。また保健師の技術について、その根拠となる資料を収集し検討した。</p> <p>3. 保健師に必要な教育内容・方法の検討 1. 2. の検討を踏まえて、①指定規則変更案、②卒業時到達度改正案、③シミュレーション教育導入の効果と限界、④学校・産業保健の講義・実習の必要性について議論し、看護基礎教育検討委員会および保健師ワーキングでの検討の根拠となるよう情報提供および意見提出した。</p>